



ボタン付け

このガイドでは、服にボタンをつける方法を紹介します。

作成者: Brittany McCrigler



はじめに

ボタンの交換は、頻繁に必要なになる衣類の修理方法です。ボタン付けは修理の中でも、とりわけカンタンです。このガイドでは、標準の4穴ボタンを針と糸でつける方法を説明します。このガイドでは、見やすくするために対照的な糸を使用していますが、実際にボタンをつけるときは、生地の色に一致する糸を使用することをお勧めします。



ツール:

- [Tailor's Chalk](#) (1)



部品:

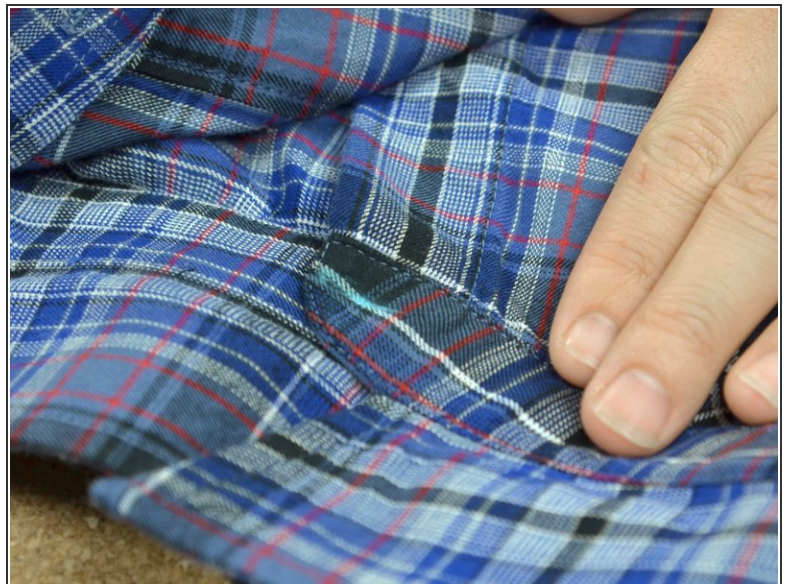
- [Button](#) (1)
- [Thread](#) (1)

手順 1 — ボタン



- ボタンをつける場所を確認します。

手順 2



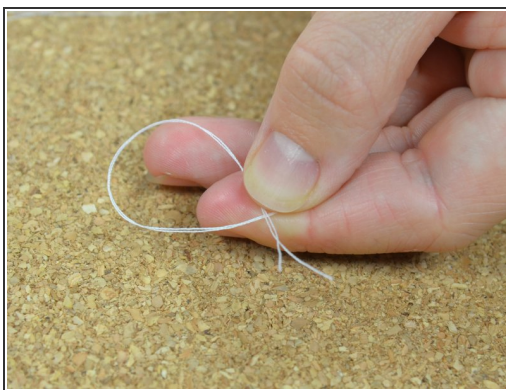
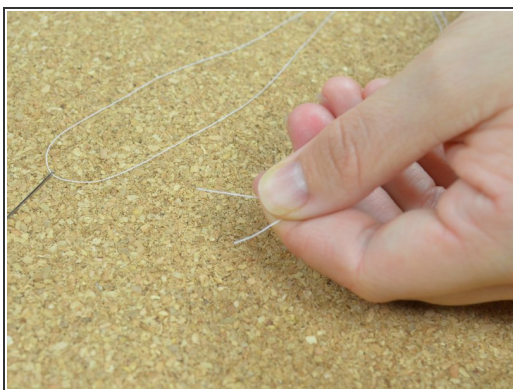
- ボタンホールのある布を上、ボタンをつける布を下にして重ねます。ボタンホールの上から、チャコを通して、ボタンをつける場所に印付けます。

手順 3



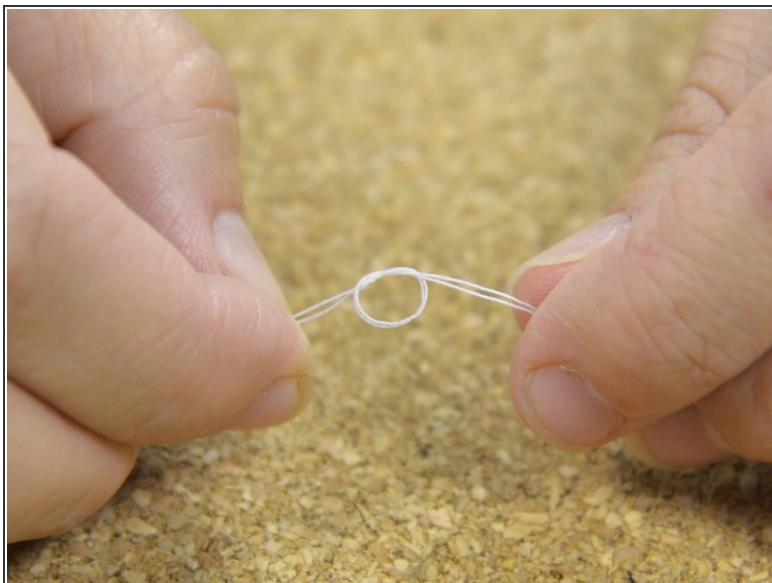
- [糸を切ります](#)。腕の長さ程度で十分です。
- 針に糸を通します。

手順 4



- 針に糸を通します。針の両側に2つの等しい長さの糸が通るようにします。
- 糸の端を結んで、玉結びをつくります。

手順 5



- 玉結びを大きくします。最初の結んだ玉の上に2番目の通常の結び目を作ります。作った結び目が生地をすり抜けないようにします。

手順 6



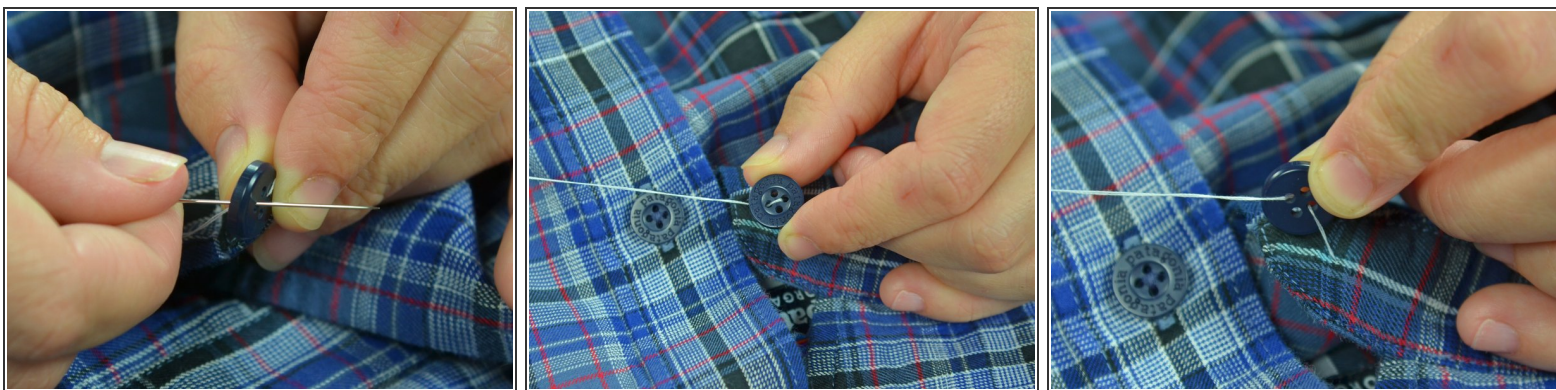
- 布の裏側から印をつけた部分に針を刺します。
- 結び目が布地の裏側に引っかかるまで、糸をぴんと張って引っ張ります。

手順 7



- ボタンの1つの穴に針を通します。通す穴はどれでも構いません。
- ボタンを布の上に置きます。

手順 8



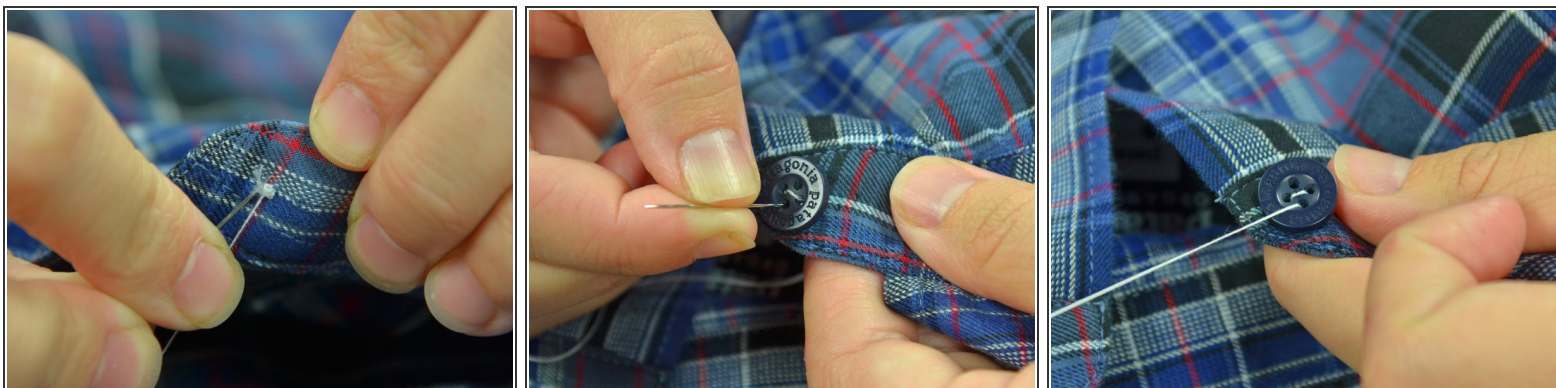
- すでに通した穴の反対側にある穴に針を通します。
- このとき、布ではなく、ボタンのみに針を通します。

手順 9



- 最初に布に針を通した場所のすぐ隣に針を通します。
- ボタンが布に対して平らになるまで、糸をぴんと張って引っ張ります。

手順 10



- 元の結び目のすぐ隣で、布の裏側から針を布に通します。
- 残りの2つの穴の1つに針を通します。
- 糸をぴんと張ります。

手順 11



- 糸を一度も通していない穴に針を通します。
- 布地ではなく、ボタンのみに針を通すようにしてください。
- 今までの縫い目に近いところを狙って、針を布に通します。
- 糸をぴんと張ります。

手順 12



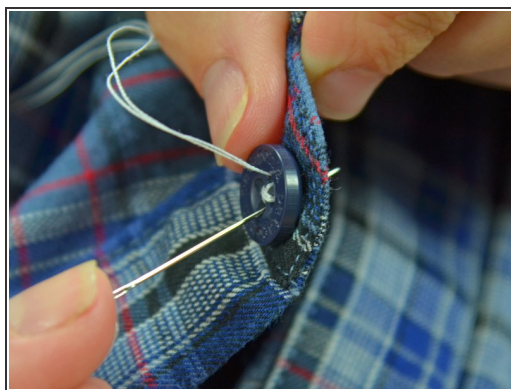
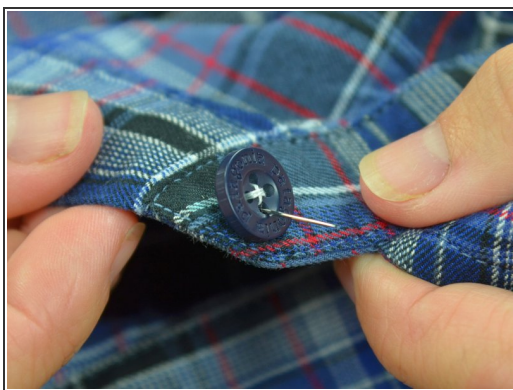
- 針を布の下側から上に通して、最初に通した穴に戻します。
- 糸をぴんと張ります。

手順 13



- いま針を通した穴の反対側にある穴に、針を通します。そのまま、布の下側に針を通します。
- 糸をぴんと張ります。

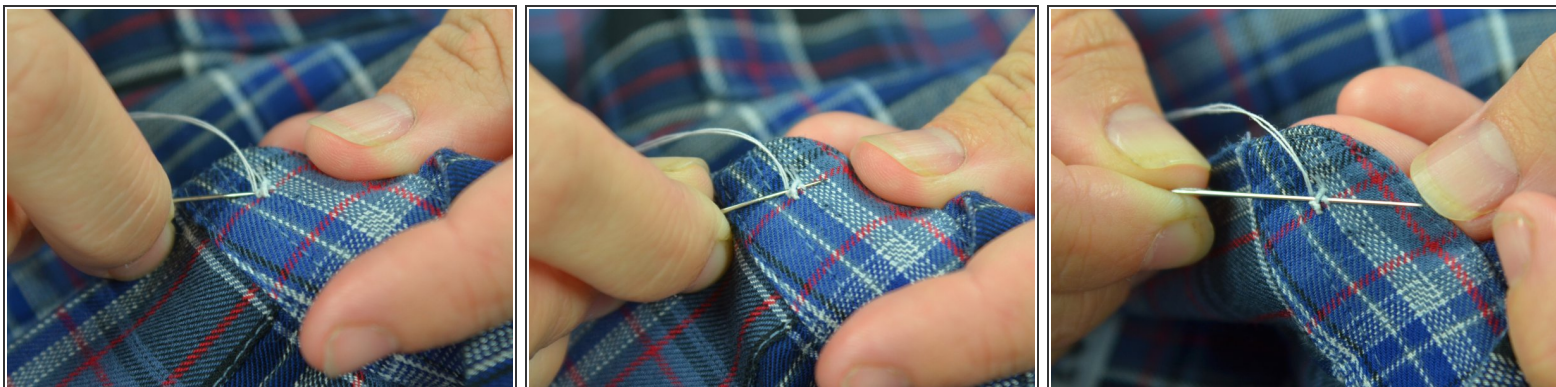
手順 14



- 次は、3番目の穴に針を通します。
- 糸をぴんと張ります。
- 針を4番目の穴を経由して布の裏側に通します。糸をぴんと張って引っ張ります。

❗ このガイドの手順12～14をもう一度繰り返してから、次に進みます。

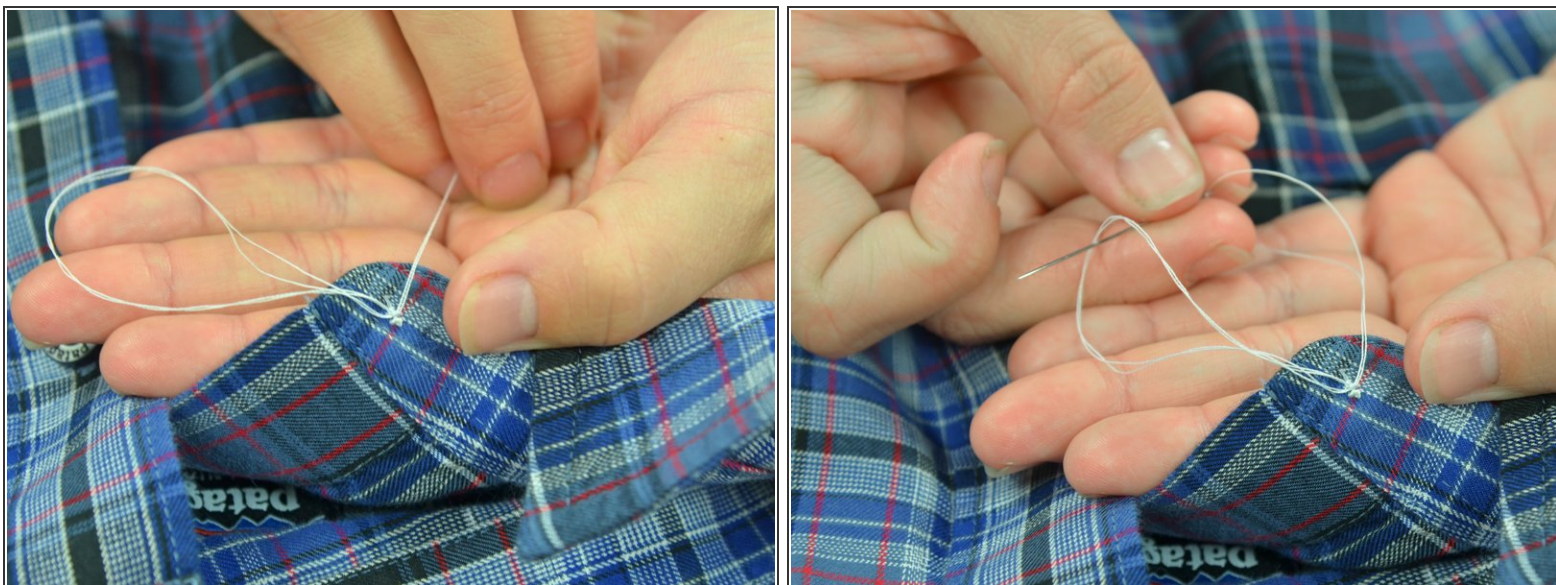
手順 15



❶ ボタンを布地に縫い付けました。次に、ボタンを正しい位置に保つための結び目を作ります。

- 布地の裏側にある糸の輪に針を通します。この時、針を布地を引っ掛けないように注意してください。

手順 16



- 糸にたるませます。たるみによってできた輪に針を通します。
- 糸をぴんと張って引っ張り、結び目を作ります。
- 手順15と16をもう一度繰り返して、結び目を2つ作ります。

手順 17



- 余分な糸を切り取ります。
- ボタンがしっかり付けられたか確認します。